

高齢者の全身疾患と管理入門

Introduction to Dentistry for the Medically Compromised Geriatric Patients

キーワード

- ① 全身管理医歯学
- ② 全身管理高齢者歯科学
- ③ 全身疾患
- ④ 認知症
- ⑤ 摂食嚥下障害

授業概要

日本は超高齢社会を迎え、重篤な全身疾患を有する高齢者が急増している。これら患者の歯科診療にあたっては各疾患に応じた管理が必要で、安全で質の高い歯科医療を展開するうえでも重要な事項である。本講義では、高齢者歯科学および麻酔科学等を専門とする教員により問題解決型の授業を展開する。学生は、さまざまな専門的視点から議論を行い、複数分野にわたる知識の体系化を達成することで、高齢者によくみられる全身疾患を理解し、歯科診療時の管理法に関する専門的知識を修得し、臨床研究を検討する能力の基本を養成することを目的として開講する。

授業科目の学修目標

高齢者歯科学は、重篤な全身疾患を有する高齢者の歯科治療時に、全身管理を通して患者の身体を守る非常に重要な学問分野である。これは、摂食嚥下障害を有する患者の口腔機能管理をも包括する学問であり、超高齢社会における歯科医師としては欠かすことのできない分野である。それらの観点に基づき、本科目では大学院レベルにおいて必要な知識を修得することを目標とする。

授業計画

- ① 高齢者歯科学の基礎知識と臨床
 - ・ 高齢者歯科学の社会的背景 1コマ 森本佳成
 - ・ 高齢者の口腔の加齢変化と臨床的問題 2コマ 森本佳成
 - ・ 全身疾患を有する高齢者の歯科医学的管理の臨床 10コマ 森本佳成
(循環器系疾患、呼吸器系疾患、代謝系疾患、腎尿路系疾患、血液疾患、精神神経疾患)
 - ・ 摂食嚥下機能障害および栄養学の臨床 4コマ 森本佳成
 - ・ 死生学 1コマ 森本佳成
- ② 高齢者歯科学の臨床および研究の倫理規範 4コマ 森本佳成
- ③ 高齢者歯科学研究の展開
 - ・ 全身疾患を有する高齢者の歯科医学的管理に関する研究の展開 5コマ 森本佳成
 - ・ 摂食嚥下機能障害および栄養学に関する研究の展開 3コマ 森本佳成

教科書および参考書

- ① 森戸光彦、山根源之、他編：高齢者歯科学 第1版 医歯薬出版
- ② 梶山加綱：有病高齢者歯科治療のガイドライン上・下 クインテッセンス
- ③ 才藤栄一、植田耕一郎編：摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

授業計画の各項目では、基礎的知識の修得に加え、本分野の教員が専門とする領域の関連論文を塾読し、概要の理解が求められる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 高齢者歯科学の社会的意義を理解し、高齢者の臨床歯科医学の基本を説明できる。
- ② 高齢者歯科学の臨床および研究における倫理規範を理解し応用できる。
- ③ 高齢者歯科学の研究論を理解し実践できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
40%	0%	15%	15%	0%	30%	0%

評価の要点

- ・試験は、授業計画で行った講義の知識の理解度を判定する。1回40%
- ・レポートは、①～③の中から各1項目について課題を提出する。5%×3回=15%
- ・成果発表は、①～③の中から各1項目について成果を発表する。5%×3回=15%
- ・口頭試問は、授業終了後毎行い、知識の理解度を判定する。1%×30回=30%

理想的な達成レベルの目安

高齢者の全身疾患と管理入門の理想的な達成レベルは80%以上とする。特に、倫理的な理解に関しては100%を求める。